

フィンランド語文法

第3回



今日の授業

いよいよ今日から、フィンランド語の文法の勉強を始めます。今回は、フィンランド語の文の基本構造を学びます。しかし、その前に、自宅で取り組んだ発音練習の成果を披露してもらいましょう。途中、ラスティモ (Kaisa Rastimo) 監督の映画「ハイフラワーとキルトシュー (Heinähattu ja Vilttitossu)」の DVD を見てもらいます。

今日のポイント

フィンランド語の基本語順をしっかりと頭に入れてください。また、属格修飾語と形容詞修飾語を混同しないように注意してください。

今日の一枚

写真は、ヘルシンキのシンボル、ルター派の大聖堂 (Tuomiokirkko) です。また、手前の広場に立っているのは、ロシア皇帝アレクサンドル2世の銅像です。フィンランドは19世紀初めから1917年に独立するまでロシア領でした。アレクサンドル2世はその当時の皇帝です。フィンランドとロシア、あるいはソ連との間に生じた様々な軋轢を考えれば、ヘルシンキの街の真ん中にロシア皇帝の銅像が立っているのは、なんとも奇妙な話です。